

母塾

2021・3・11

VOI・53
54



illustrated by Tsugumi

『ボン・ヴォヤージュ(bon voyage) よき航海をゆけ』いのはなはるこ

最近とってもいい文章に出会いました。

おとし47才の若さで亡くなった教育家・瀧本哲史さんの本からです。

「船員になるか、船長になるか」

「ボン・ヴォヤージュ」という挨拶はもともと船長同士の挨拶だそうです。

船員同士はこの挨拶はしないそうです。

船長とは自ら自分の船のリスクをすべて負い、意思決定をする人です。

航海で船がすれ違う時にそのお互いの意思を尊重し、挨拶します。

お互いがそれぞれの「よき航海を」と。

自立している人間同士の挨拶です。

私たちは子どもを育てるのは、ひとりの自立した人間としていくためです。

自立とは自分の人生の意思決定を他人に任せないことです。

子どもにも船員ではなく、自分の船の船長になってもらいたいと思います。

私たち母親もまたひとりひとりが船長です。

この時代の荒波を小さな子どもを守りながら航海しています。

自分の考えで自分のやり方で子育てしていけばよいのです。

私も子どもが卒園式を迎えたら、幼稚園を離れます。

でも船ならぬ、自転車をこぎながら、みなさんとすれ違い、

「ボン・ヴォヤージュ」よき航海をと、みなさんの子育てに敬意を表します。

いつかは子どもたちは船から降りていくでしょう。

それは本当にあっという間の短い時間です。

それまで、お互いに悩みながらも、この旅を楽しみましょう。

harukoinohana1717@gmail.com

参考『2020年6月30日にまたここで会おう』瀧本哲史